

「指宿小学校の田之畑棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

指宿市立指宿小学校

2 学年・人数

5・6年生（計91人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年9月～10月 体育の時間（本校校庭）

(2) 発表の日時・場所

令和2年10月4日（日）指宿小学校秋季大運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

田之畑棒踊（たのはたぼうおどり）

(2) 由来

棒踊りは、田植え前後の豊作を祈る踊りと伝えられているが、その後、神社の祭りやいろいろな行事でも踊られるようになった。

(3) 構成等

一説には、島津義弘ひきいる薩摩との朝鮮半島と戦いの後、その帰国祝いとして始まったとも言われている。派手な服装の15、6人の男性が入り乱れて打合う技術的にも難しい剣劇である。

5 保存会や地域との連携の具体

この伝統芸能である棒踊りが指宿小学校の運動会で踊られるようになったのは、1982年に当時の校長が提案されたのがきっかけである。「特色ある学校づくり」の一環としての取り組みであったとのこと。そこで、指宿小学校区内にある「田之畑の棒踊り保存会」の方々に指導をお願いすることになった。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

2学期の始まる9月の初めから約一か月の間、保存会の方々が指宿小学校に来て棒踊りの指導をしてくださる。指導では保存会の方々の熱い檄が飛び、それに応えようと子どもたちも必死に棒を振る。

また、5・6年生では総合的な学習の時間に「棒踊り」について調べたり、発表したりすることで、動きだけでなく歴史や伝統について考えることができている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



保存会と児童の練習風景



運動会での発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【6年生児童生徒】

私たちが踊った棒踊りは，新しい5・6年生へと引き継がれます。棒踊りの歴史と伝統は，私たち指宿小学校の歴史と伝統でもあります。この伝統を大切に，「指宿小学校の宝」としていつまでも受け継がれてくことを願っています。

【教職員】

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で，運動会での棒踊りを例年通り実施するかについて検討しました。しかし，「このような時期だからこそ，見ている人に元気を与えるような演技をしたい。」という子どもたちの思いを尊重する形で，様々な対策を講じながら，今年度も無事にやり遂げることができました。

【保存会から】

私たちも，保存会として30年以上指導に携わっていますが，大切にしているのは子ども同士の心のつながりです。お互いに教え合い学び合っていく中で，先輩と後輩が互いを思い合う。つまり棒踊りは，伝統芸能であるだけでなく，それを学ぶことによって人としても成長できるものだと思います。

【地域の方から】

運動会で，子どもたちが棒踊りを踊る時には，周りが静まり返り，みんなが息を呑んで見ているのが伝わります。これからも，この棒踊りを伝統として引き継いでいってほしいです。